

和地ひとみレポート No.460

新春恒例の行事“消防出初式”

地域防災のため高まる消防団の重責。なり手不足が大きな課題。

■令和5年消防出初式

…新春恒例の行事の1つ「消防出初式」。
今年、1月8日（日）東大和市ロンド桜が丘フィールドを会場として執り行われました。
…新型コロナウイルス感染症の影響で、東大和市の出初式は開催に関する様々な規制が続いている状況。
今年も来賓は最小限とした開催。通常通り来賓を招待すると、屋外とはいえ、テント内の来賓席に来賓が並んで着席するため、市議会に関しては議長のみが来賓とされました。しかし、来賓席に着席せず、一般観覧者と同様に会場を取り囲んでの観覧は可能とされており、複数名の市議会議員を会場で目にしました。
…新型コロナウイルスの感染防止の観点での対応だったようですが、来賓が少ない会場は、少し寂しい感じ。出初式後の祝賀会も開催されず、消防団の皆様の日ごろの活動をねぎらうこともできず、また、例年、祝賀会で発表される東大和市の前年の災害状況や消防団の現状について、詳細を聞く機会も得られませんでした。



【北多摩西部消防署管内の令和3年と4年の火災状況】

※北多摩西部消防署管内＝東大和市・武蔵村山市

	令和4年	令和3年	増減
火災件数	41件	42件	▲1件
焼損床面積	682㎡	500㎡	+182㎡
死者数	2人	2人	0
傷者数	9人	8人	+1人

【近年の東大和市消防出初式の開催状況】

◆令和2年

通常通り開催。

◆令和3年

開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の拡大状況に鑑み、式典は実施せず、消防団の市内パレードのみ実施。

◆令和4年

参加される方の健康と安全を考慮し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策として、無観客(消防団員の家族および退団者感謝状の対象者のみ)で開催。

■東大和市の災害状況は

…前述のとおり、昨年、東大和市内の災害状況の詳細については確認できませんでしたが、式典内の市長式辞と、北多摩西部消防署長の挨拶では、昨年、市内で発生した火災により、2名の尊い命が失われたことに触れられていました。

…また昨年は、幸い、東大和市では大きな水害は発生しませんでした。友好都市である喜多方市においては8月に発生した数日に及ぶ「記録的短時間大雨」により、川にかかっているJR磐越西線の橋の一部が崩落するとともに、住宅などの浸水被害が多く発生しました。

…このことについても市長式辞では触れられ、台風だけでなく、局地的なゲリラ豪雨や線状降水帯等による水害は日本各地で発生しており、東大和市においても、それら水害が発生する可能性はあるため、備えが必要だとの認識も示されました。

…上記、火災発生状況は北多摩西部消防署が公表しているもの。そのほか、私が委員長を務めている市議会総務委員会では、防災関連を所管している関係から、市内の災害対応などについて、定期的に担当課からの報告を受けています。

…最新の報告は12月議会定例会中。よって、報告を受けたのは前月の11月末日までの状況です。この報告から、令和4年1月から11月末の間の消防団の出動した火災関連は以下の通りです。

【令和4年1月～11月末日までの火災関連での消防団の出動状況】

月	日	曜日	時間(頃)	地域	火災の程度	出動人数
2	4	金	13:30	狭山	誤報	28
	8	火	9:20	桜が丘	誤報	16
3	4	金	15:00	仲原	部分焼等	24
	9	水	21:55	南街	部分焼等	40
	17	木	20:35	新堀	小火	47
	26	土	13:45	立野	半焼	30
4	7	木	7:30	立野	誤報	13
5	12	木	8:45	清水	半焼	16
	17	火	13:45	南街	誤報	18
	24	火	12:15	南街	誤報	19
6	24	金	12:15	南街	誤報	17
	25	土	8:25	南街	誤報	17
7	5	火	12:20	南街	誤報	17
	16	土	13:30	南街	車両火災	15

(裏面に続く)

月	日	曜日	時間(頃)	地域	火災の程度	出動人数
9	2	金	14:30	南街	誤報	16
10	7	金	12:30	桜が丘	誤報	17
	17	月	15:55	南街	誤報	18
	23	日	15:25	新堀	全焼等	41

…上記の表のとおり、昨年1月、8月、11月には消防団が出動する火災は発生しませんでした。

また、消防団は火災だけでなく、大雨等の際にも必要に応じて出動しますが、昨年は、避難所開設の必要な大雨があったものの、消防団の出動が必要なケースは少なく、市の職員等で対応できたとのこと。

…そのほか、担当課から報告を受けていない12月については、報道で大きく取り上げられる火災が、市内の中央でも発生しています。

■全国的に団員不足が大きな課題に

…地域密着で消防活動や防災活動を行ってけている消防団。火災が起きた際、いち早く現場にかけつけることができるのは、消防団が地域住民による組織だからこそとも言われています。

…さらに、その活動範囲は火災だけでなく、地震や台風、豪雨災害などが発生した際は、救助活動や負傷者の応急処置、避難誘導、警戒巡視、後方支援など、様々な役割を担っています。

…また時には、非常時だけではなく、日常に起こる迷子や行方不明者の捜索などを行うことも。

このように、地域の地理を熟知している消防団の存在は住民にとって心強い存在で、自然災害が増加している近年では、その役割の重要性も高まっていますが、全国的にみると、担い手不足が深刻な課題となっているのが実情です。

…総務省が行った「消防団の組織概要等に関する調査(令和4年度)」によると、全国の消防団員数は約78万3,500人。前年比で約2万1,300人減少しており、3年連続で毎年、1万人以上ずつ減少していた近年を上回り、減少数は一気に2万人を超えました。

…一方、消防団については、消防組織法の第9条に「市町村は、その消防事務を処理するため、次に掲げる機関の全部又は一部を設けなければならない。一、消防本部 二、消防署 三、消防団」とされているため組織されているもの。よって各行政にはがあり、公務員(一般的にいう消防署員)により組織された消防組織(消防本部や消防署と)、住民組織である消防団が存在します。

…また、消防団は住民組織といえども、団員は非常勤特別職の地方公務員とされており、年間一定の金額が報酬として支給されるほか、災害や訓練に出動した場合には、手当てが支給されますが、令和3年4月時点での年額報酬の全国平均額は、3万1,072円。

日ごろから訓練が必要なおえ、命がけの業務内容と比較すると、十分とは言えない状況だと思えます。

■東大和市消防団の団員数の状況は

…全国での消防団員数の減少と同様に、東大和市でも団員数は定数に満たない状況。定数については、東大和市消防団規則で定められており、消防団本部(女性部含む)と分団を合わせて189名。

しかし、東大和市では、1995年から30年近く定員割れが続いており、近年の状況は以下の通りです。

【近年の東大和市の消防団員数】

平成29年:152人(対定数▲37人)

平成30年:151人(対定数▲38人)

平成31年:131人(対定数▲51人)

令和2年:134人(対定数▲55人)

令和3年:128人(対定数▲61人)

…今年の出初式で公表された消防団員数は107人。定数には82人不足しており、式典の中でも、消防団への入団を呼びかけるアナウンスがありました。

…また、今年の出初式での永年勤続表彰では、史上初の『永年勤続35年』で表彰された団員が1名いらっしゃいました。長年、地域防災に貢献していただいていることに頭が下がる思いでいっぱいですが、一方で、人手が不足している状況を目の当たりにされていることなのでは…とも推察しました。

■東大和市は待遇を改善しているが

…東大和市の消防団の入団資格は「市内在住及び在勤で年齢18歳以上60歳未満の方(団長・副団長は除く)」、「心身ともに健康な方」というもの。中には、学生でありながら、入団されている方もいましたが、団員不足の状況で、火災等の際に人数が集まらず、十分に活動できないこともあるのが実情です。

…報酬面について東大和市では、昨年度、条例を改正。改正前は、消防庁が定める標準額の2倍近い年額報酬(6万8,000円/年)を団員に支払うとともに、別途、出動のたびに交通費などの費用弁償として2,500円の“手当”を支払ってききました。

…しかし、条例改正が適用された今年度からは、以前の“手当”を廃止し、“報酬”とし、出動ごとに4,000円~8,000円を支払うことに。条例改正により、団員に士気を高めてもらい、加入増につなげることを目的としましたが、なかなか効果は出ない状況です。

…消防団活動は、他に職業を持ちながらの活動であることが前提。しかし、現代の都市部の生活状況では、団員のボランティア精神や意欲のみに依存することには無理があるようです。新たな方法を模索することが必要ですが、まずは、私たち一人ひとりが、日ごろから防災意識を高め、消防団の負担を抑えることも必要だと、年のはじめに改めて思いました。

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート。駅前配布するレポートは毎回、最新号です。

【プロフィール】「私たちの身近にある市政、市議会。伝えることがスタートだと思います。」

1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山あいの小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク(※スパーマーケットを経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換)に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。月刊誌『日経WOMAN』のベンチャー企業で活躍する女性特集で取り上げられる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後は、不動産投資会社にて企画業務、税理士対応、広報、社員研修、組織活性化などに従事。2011年4月、初当選。現在3期目。顔の見える議員として、日々奮闘中。



東大和市 市議会議員
和地 ひとみ

■連絡先

和地 ひとみ事務所

HP: <http://www.wachi1103.jp>

✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp

【電話・FAX】042-516-8546

〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102